



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ベネフィット・ワン

コード番号 2412

URL <http://www.benefit-one.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 白石 徳生

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 小山 茂和

TEL (03) 6892-5202

経営管理部長

四半期報告書提出予定日 平成22年11月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	7,065	ー	679	ー	687	ー	395	ー
22年3月期第2四半期	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	1,796 88	1,793 67
22年3月期第2四半期	ー	ー

(注) 22年3月期第2四半期につきましては、連結財務諸表を作成しているため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	10,408	7,751	74.5	35,213 24
22年3月期	11,304	7,912	70.0	35,940 78

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 7,751百万円 22年3月期 7,912百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	ー	0 00	ー	2,500 00	2,500 00
23年3月期	ー	0 00	ー	ー	ー
23年3月期(予想)	ー	ー	ー	2,500 00	2,500 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の業績予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	15,400	ー	2,440	ー	2,500	ー	1,475	ー	6,703 21	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期2Q	224,940株	22年3月期	224,940株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

23年3月期2Q	4,800株	22年3月期	4,800株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期2Q	220,140株	22年3月期2Q	219,047株
----------	----------	----------	----------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

また、当社は、昨年度連結財務諸表を作成しておりましたが、平成21年7月1日付で連結子会社株式会社ベネフィットワン・パートナーズ及び株式会社グローバルヘルスケアを吸収合併したため、今年度、連結財務諸表非作成会社となりました。そのため、今年度より四半期財務諸表を作成していません。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. その他の情報	P. 3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 3
3. 四半期財務諸表	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 5
【第2四半期累計期間】	P. 5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	P. 6
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 7
4. 補足情報	P. 7
前第2四半期連結累計期間と当第2四半期累計期間との経営成績対比	P. 7

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間のわが国経済は、企業収益の改善など自律回復に向けた動きがみられるものの、海外経済の下振れ懸念や為替レートの変動により景気が下押しされるリスクがあり、雇用情勢も失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況であります。

このような経済状況の下、民間企業、官公庁は、従業員の福利厚生に関し、多様なニーズに応えるサービスを経済的に提供することを目的に、アウトソーシングの活用を検討・実施しております。

当社は、これに対応するため、民間企業、官公庁に提案営業を積極的に推進すると共に、福利厚生サービスについて宿泊、スポーツ、育児、介護などのメニューを拡充し、優れたワークライフ・バランスを実現するよう努めております。

また、企業顧客満足度向上のためのサービス「カスタマー・リレーションシップ・マネージメント(CRM)事業」、特定健康診査・特定保健指導等を主力サービスとした「ヘルスケア事業」、「インセンティブ事業」にも注力して参りました。

こうした取組みの結果、当第2四半期累計期間の売上高は7,065百万円、営業利益は679百万円、経常利益は687百万円、四半期純利益は395百万円となりました。

なお、当社は、昨年度連結財務諸表を作成しておりましたが、平成21年7月1日付で連結子会社株式会社ベネフィットワン・パートナーズ及び株式会社グローバルヘルスケアを吸収合併したため、今年度、連結財務諸表非作成会社となりました。そのため、ここでは前第2四半期連結累計期間との比較は行っておりませんが、その対比については7ページの「4. 補足情報」をご覧ください。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は前事業年度末に比して895百万円減少し、10,408百万円となりました。

流動資産は、713百万円減少し6,823百万円となり、これは主に、現金及び預金の減少205百万円、売掛金の減少63百万円、ガイドブック等たな卸資産の減少121百万円、前払費用の減少228百万円によるものであります。

また、固定資産は、182百万円減少し、3,585百万円となりました。これは主に、投資抑制による無形固定資産の減少160百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債は前事業年度末に比して735百万円減少し、2,656百万円となりました。

流動負債は、784百万円減少し2,520百万円となり、これは主にガイドブック制作費等買掛金の減少649百万円、未払法人税等の減少104百万円によるものであります。

また、固定負債は、49百万円増加し、136百万円となり、これは主に資産除去債務の増加42百万円、ポイント引当金の減少28百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は前事業年度末に比して160百万円減少し、7,751百万円となりました。これは主に、当第2四半期累計期間における四半期純利益395百万円、配当金550百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の70.0%から74.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前事業年度末に比して5百万円減少し、4,186百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因を以下に記載します。

なお、当社は、昨年度連結財務諸表を作成しておりましたが、平成21年7月1日付で連結子会社株式会社ベネフィットワン・パートナーズ及び株式会社グローバルヘルスケアを吸収合併したため、今年度、連結財務諸表非作成会社となりました。そのため、今年度より四半期財務諸表を作成しており、前第2四半期連結累計期間との比較は行っておりません。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、447百万円の増加となりました。

資金増加の主な内訳は、税引前四半期純利益684百万円、減価償却費276百万円、たな卸資産の減少121百万円等によるものであります。

資金減少の主な内訳は、ガイドブック制作にかかる支出を中心に仕入債務の減少649百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、99百万円の増加となりました。

資金増加の主な内訳は、定期預金の払戻200百万円によるものであります。

資金減少の主な内訳は、ソフトウェア等の無形固定資産の取得108百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、552百万円の減少となりました。これは主に、配当金の支払548百万円があったこと等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果当社は、平成22年10月20日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を発表致しました。平成22年10月20日発表時の通期の業績予想と変更はございません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期累計期間の営業利益及び経常利益は1百万円、税引前四半期純利益は26百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は41百万円であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,983	4,189
受取手形及び売掛金	2,102	2,165
有価証券	202	202
たな卸資産	121	242
その他	425	750
貸倒引当金	△12	△14
流動資産合計	6,823	7,536
固定資産		
有形固定資産	1,626	1,623
無形固定資産	1,144	1,304
投資その他の資産		
その他	814	839
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	813	838
固定資産合計	3,585	3,767
資産合計	10,408	11,304
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	874	1,523
未払法人税等	303	407
その他	1,343	1,373
流動負債合計	2,520	3,305
固定負債		
ポイント引当金	24	52
その他	111	34
固定負債合計	136	86
負債合計	2,656	3,392
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,514	1,514
資本剰余金	1,454	1,454
利益剰余金	5,110	5,265
自己株式	△330	△330
株主資本合計	7,749	7,904
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2	7
評価・換算差額等合計	2	7
純資産合計	7,751	7,912
負債純資産合計	10,408	11,304

(2) 四半期損益計算書

【第2四半期累計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	7,065
売上原価	4,622
売上総利益	2,442
販売費及び一般管理費	1,763
営業利益	679
営業外収益	
受取配当金	5
その他	4
営業外収益合計	9
営業外費用	
支払利息	0
コミットメントフィー	1
その他	0
営業外費用合計	1
経常利益	687
特別利益	
ポイント引当金戻入額	25
その他	1
特別利益合計	26
特別損失	
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	24
その他	5
特別損失合計	29
税引前四半期純利益	684
法人税、住民税及び事業税	291
法人税等調整額	△1
法人税等合計	289
四半期純利益	395

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	684
減価償却費	276
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△28
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	24
受取利息及び受取配当金	△7
支払利息	0
売上債権の増減額(△は増加)	63
たな卸資産の増減額(△は増加)	121
仕入債務の増減額(△は減少)	△649
その他	238
小計	724
利息及び配当金の受取額	7
利息の支払額	△0
補助金の受取額	103
法人税等の支払額	△388
営業活動によるキャッシュ・フロー	447
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△9
無形固定資産の取得による支出	△108
定期預金の払戻による収入	200
その他	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	99
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△548
その他	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△552
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5
現金及び現金同等物の期首残高	4,192
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,186

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

前第2四半期連結累計期間と当第2四半期累計期間との経営成績対比

当社は、昨年度連結財務諸表を作成しておりましたが、平成21年7月1日付で連結子会社株式会社ベネフィットワン・パートナーズ及び株式会社グローバルヘルスケアを吸収合併したため、今年度より連結財務諸表非作成会社となりました。そのため、今年度より四半期財務諸表を作成しております。

なお、上記連結子会社は両社とも当社の完全子会社でありましたので補足情報として前第2四半期連結累計期間の連結経営成績及び当第2四半期累計期間の個別経営成績を以下に記載いたします。

平成23年3月期第2四半期の業績（平成22年4月1日～平成22年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	7,065	4.5	679	△4.4	687	△3.7	395	△16.2
22年3月期第2四半期	6,758	△9.6	710	△10.7	714	△10.4	472	6.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	1,796 88	1,793 67
22年3月期第2四半期	2,155 62	2,143 04

(注) 23年3月期第2四半期につきましては、個別財務諸表の数値を記載しており、22年3月期第2四半期につきましては、連結財務諸表の数値を記載しております。また、23年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は、22年3月期第2四半期の連結財務諸表との対比により算出しております。